

キツネ用駆虫薬の散布について

月寒公園では、北海道大学（池田貴子特任講師）と協働で、キツネの生態調査とエキノコックス駆虫薬散布を行っています。

エキノコックス駆虫薬入りのベイト（以下ベイト）を月寒公園内に散布することで、園内に生息するキツネの体内からエキノコックスを排出し、キツネから人にエキノコックスが感染するリスクを抑えることができます。人間に対しても使われる薬ですので、ベイトを食べた動物には一切、害はありません。例えば、もし犬や猫、人間が食べてしまっても、健康を害することはありません。

ベイト散布は、定期的に継続する予定です。きちんとキツネに行き届くように、触ったり持ち帰ったりすることのないよう、ご協力をお願いいたします。

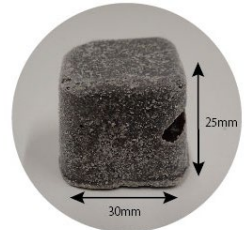
エキノコックス症とは

エキノコックス症とはエキノコックスと呼ばれる寄生虫の卵がヒトの体内に入り、幼虫となって肝臓などに寄生し、肝機能障害等を引き起こす病気です。

ベイトとは

ベイトとは、養殖魚にも使用されている駆虫薬（プラジクアンテル50mg）、魚粉、油脂類を混ぜ合わせたキューブ状の餌です。キツネが継続的にベイトを摂取することで、体内からエキノコックスを排出させ、キツネの感染を防ぎます。

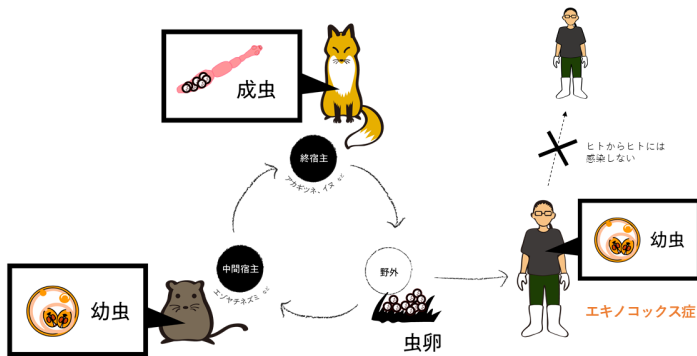
散布は令和3年7月より実施しています。



散布するベイト

よくわかる エキノコックス感染マップ

以下の図はエキノコックスの感染をわかりやすく図にしたものです。



図：池田貴子（北海道大学）／林悦子

エキノコックス症 北海道の年間感染者数（2021年3月現在）						
2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015
2人	21人	26人	20人	28人	27人	23人

出典：北海道感染症情報センター



キタキツネ
(アカキツネ亜種)

食肉目（ネコ目）イヌ科
体長：50cm～60cm
体重：5～10kg
体色：赤褐色、褐色
食べ物：ネズミなど小動物
昆虫、木の実
生息地：草原や山地
寿命：3～5年
繁殖期：12月～2月

月寒公園利用者へお願い

もしも園内でキツネが近寄ってきても、絶対に近づいたり、キツネに触れようとしないでください。

また、公園では野生生物への餌付け行為を固く禁止しています。本来、野生生物が持っている採餌能力が失われてしまい、人に依存する可能性が非常に高くなることから、絶対にやめましょう。

お問い合わせ：月寒公園管理事務所 011-818-3150（9時から17時）